

「成長すること」



3週間の実習期間が終了しました。保護者の皆様には、お弁当作りや通勤支援、勤務に向けての励まし等ご支援いただきありがとうございました。

生徒たちは、それぞれの立場で一生懸命に取り組んできました。その上で「〇〇ができるようになった」と成果を感じたようでした。また「××ができるようにならなくては…」と課題も感じたようでした。例年の様子に比べると、現場の実情に対する自分の課題を感じた生徒が多かったようです。

話は変わりますが、3年間在籍していると、1度行った実習先に2回目、3回目と行くことがあります。そうした時、現場の方からこんなお話を受けることがあります。

「前に来た時よりも落ち着いて作業をするようになったね」、
「一人でも落ち着いて待っていられるようになったね」、
「色々な仕事を嫌がらないでできるようになったね」 等々

以前の本人と比べて、確かな成長を感じていただいた一言です。

そして、こんなことも言われます。

「若いから、挑戦してがんばると、どんどん成長していくよね」

今までこのような声を掛けていただいた生徒の多くは、実習が終わった後自分ができるようになった方が良いことを確認し、日常生活(学校生活・家庭生活・社会生活)でできるように頑張っている生徒でした。

具体的には、その後どのようにしていたのでしょうか。

自分が得意でできることは、自分自身の考えや判断を加えてさらに取り組み、伸ばしていました。また不得意なことでも現場では求められることがあります。どうやったらできるだろうか、ご家族や先生たちと確認をしながら自助支援の方法を確立しようと努力していました。もちろん我慢をしたり、悩んだり、爆発したりということもありました。でも、現場に出た時に自分自身が困らないように、卒業して社会に出た時しっかりと生活できるように目標をもって取り組んでいました。

「成長すること」は、とても大切なことだと思います。

過去の自分より、今の自分。今の自分より、未来の自分。「ちょっとずつでも確実な歩み」を積み重ね「成長すること」につなげられたらと思います。

さあ、前期の現場実習はどうでしたでしょうか？

ご家族で今一度、振り返ってみてはいかがでしょうか。
実習日誌や連絡帳をご覧になって、気がついたこと、また保護者の方が現場の様子を見て、聞いて感じたこと、それらを基にどんな事ができて、これから何が必要なのか。具体的にどんな取組をしたらよいか。みんなで考えてください。
そして本人、ご家族が行動を変えて行くことが大切です。ちょっとでもいい、今と違った姿を目指して、努力していきましょう。



次の実習での成長した姿を求め、みんなで取り組んでいきましょう。

7月4日(月)に現場実習・校内実習を振り返り、報告会を行いました。生徒の意見を掲載します。参考にしてください。

<実習報告会・グループ懇談記録>

○実習先で大切だ、できるようにならなければいけないと思ったこと

<態度・取組>

- ・静かに仕事をする。
- ・ゆっくり丁寧に最後まで仕事をする。
- ・もっと行動を速くする。
- ・時間いっぱい集中する。
- ・緊張する時や嫌な時に泣かない。
- ・指示に沿って作業し、スピードを上げる。



<コミュニケーション>

- ・報告をきちんとする。分からない時はしっかり聞く。(少しでも分からなかったら)
- ・あいさつ、返事、報告ができるようになる。報告やあいさつの声の大きさに気を付ける。
- ・お客さんへのあいさつがしっかりできるようにする。
- ・一緒に働く人に対するコミュニケーション。
- ・仕事をスムーズに進めるため、声の大きさに気を付ける。
- ・不良品を出したらすぐに謝る。
- ・お客さんに自分から声を掛ける時の言葉遣い。例えばお茶を提供する時に「熱いですので気を付けてください」とひと言添える。
- ・自分の考えを相手に伝える時は、しっかりとやりたいことをまとめて整理してから伝える。

<準備・健康>

- ・重労働を続けられる筋力と体力が必要。
- ・日常生活でも気持ちがだらけないように、強い気持ちをもつ。
- ・早寝早起きをして体調管理に気を付ける。
- ・疲れた時は、帰ってから先にお風呂に入り、ゆっくり休めるように努めた。

<その他>

- ・分からないことを質問したり相談したりするのは、最初はそうしなければならないけれども、いつまでもそれではダメだと思った。人の動きを見て真似する等、自分で考えて行動することが大切だと感じた。

グループごとの話し合いでは、教員が話し合いをコーディネートし、本人たちの意見を引き出し、質問を返して内容を深めました。
1年生もグループに入り、先輩たちから現場での様子を詳しく聞きました。

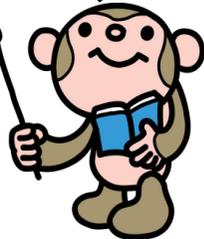
グループから出た意見では、他のグループと同様の意見もありました。進路だよりでは、同様の意見をまとめてお伝えいたします。



○現場の人から、注意されたこと

- ・大きな声で話をしない。(うるさくならない)
- ・大きな声で伝えること。(はっきり伝える)
- ・手元を見て作業をするように!
- ・キョロキョロせず、よく見て作業をするように!
- ・姿勢・集中・報告。
- ・なるべくたくさん資材を運ぶこと!
- ・丁寧にするのも大事だが、スピードを意識すること!(スピードが遅い)
- ・外仕事なので、こまめに水分補給をすること。
- ・無理をしすぎて体調を崩さないようにすることも大切。
- ・手順通りにすること!
- ・次は失敗しないように!
- ・分からないことは質問すること!
- ・自分のことだけでなく周りのことも考えること!
- ・モップをかける時にアドバイスをいただいた。
- ・教えてくれる人は働くことをイメージして教えてくれている。教わったことを次に取り入れる。

子どもたちが注意されたことを聞いてみると、働く態度や意欲、コミュニケーション、安全管理、指示の理解に関わることが多かったようです。現場の方たちが、子どもたちの働く様子から気になるところなのですね。相反する内容もありますが、それぞれの現場からのニーズでもあります。



○これからの学校生活で練習し、身に付けなければいけない力

<行動・態度に関わること>

- ・ゆっくり落ち着いて行動すること。姿勢(態度)や報告に気を付ける。
- ・緊張する場面でも速く行動すること。
- ・作業に集中して取り組む。
- ・終わりの時間を意識して行動すること。
- ・指示通りに仕事をする。メモをとる。
- ・できることは自分から進んで行うようにすること。
- ・自分の気持ちを態度で表す。
- ・職業技能などで、次は何をしたらよいか考えて行動すること。
- ・苦手なところをチャレンジする時の自分の気持ちは沈みがちだけど、チャレンジした後は学校生活の中でも使えるし、やってよかったと思うので、できないことでもチャレンジする。

<コミュニケーションに関わること>

- ・困った時に自分ではっきり相手に伝えること。(質問・報告)
- ・報告やあいさつは、毎日の生活の中での朝や帰りのあいさつ、職業技能の報告等を繰り返すことによって身に付く。
- ・分からないことはすぐに聞き、それを理解し、指示通りにする。
- ・質問・返事・報告を聞こえる声で必ずする。(自分から)
- ・指示を最後まで理解する。
- ・普段の学校生活からはっきりと話を。声の大きさより口の開け方に気をつける。伝わるのが大切。

<健康に関わると>

- ・学校に休まず登校すること。
- ・体力作りをして、体力・筋力をつける。
- ・卒業後は8時間仕事がしたい(今回の実習は6時間)ので、8時間働き続ける体力。
- ・指示通りに仕事をする。メモをとる。
- ・学校でできないことは実習にいてもできないので、日常生活で意識して行う。

生徒からは、一つ一つの作業内容よりも、態度や行動、コミュニケーション、健康に関わることが多く出ました。職業生活を送る上では、大切なことですね。



実習に関わる書類をお渡ししています。

先日、後期のふれあいジョブ、現場実習の実習希望調査をお渡ししました。合わせて、2、3年生には現場実習の通勤(就学奨励費)に関わる文書をお渡ししました。内容をご確認の上、それぞれ期限までにご提出ください。

なお、ふれあいジョブについて、通勤方法や個人の課題とジョブ先とのマッチングについて検討が必要なケースが多いように感じます。参加希望に関わってご家族でしっかりと相談の上、ご提出ください。

学期末になり、進路関係文書が様々ありますが、よろしくお願ひ致します。

新潟県立小出特別支援学校 川西分校

進路教室のご案内

前回6月20日の進路教室にご多用の中、ご参加していただき、ありがとうございます。夏の間、進路教室の予定をお知らせします。

7月の進路教室

日時・場所	予定するテーマ・内容
7月20日 (水) 13:30~ 学習室 (場所が変更になっています)	・社会での生活と在学中に取り組むべきこと 《講師》 児玉 さゆり様 (H26年度卒業生保護者) 大口 操 様 (H27年度卒業生保護者) ※ 卒業生の保護者の方を講師としてお迎えし、企業就労・福祉就労それぞれの道に進んだお子さんの現在の様子や、在学中から取り組んでおくべきこと等について、ご自分の経験談を交えてお話いただけます。

P.T.A進路研修(兼 8月の進路教室)

<日時> 8月8日(月) 10:00~12:00 (受付9:30~)

<場所> 十日町情報館 視聴覚ホール

<テーマ・講師>

「卒業後の実生活(仕事と暮らし)~地域の実例から学ぶ~」

《講師》

障がい者地域生活支援センターあおぞら 相談支援専門員 庭野 純愛 様
障がい者就業・生活支援センターあおぞら 就業支援ワーカー 尾身 恵 様

※上記のテーマで、それぞれの支援する立場でお話しいただく予定です。

※川西分校の保護者の皆様は、別紙にて出欠を取らせていただきます。校外から参加をご希望される方は、事前にお問い合わせください。



不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 佐藤正高

